

NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02780-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www12.plala.or.jp/hokjioka/> →変更:www.hokjioka.net E-mail: codmokan@agate.plala.or.jp

定価:250円/年額:3,000円(送料込)
*会員は会費(支援金)を含む



INDEX

- P1: 巻頭言/
- P2: ヒューマントラスト/ 普及活動、「卒修業のつどい」「年次会費」納入のお願い
- p3: 「2012年度方針」
- p4-5: 教育大学釧路校 第4回実習/授業・行事
- p6: 大学生レポート
- p7: 子ども館の実践
- p8: 時事、スケジュール他

《写真説明》教育大の第4回実習:最終日(10回以上来訪)4年生に生徒スタッフからプレゼント

知っているようで知らない「消費税」

株ユタカ商会 代表取締役 本郷 利武

先日、消費税について改めて考える機会を得ました。機会を与えてくれたのは、(株)りんゆう観光の植田英隆社長。講師はジャーナリストの斎藤貴男氏。氏は、消費税は致命的な欠陥を抱えた税制であると訴えています。内容の一部を紹介します。

- ・輸出大企業は、消費税の輸出戻し税(輸出した商品の仕入額にかかる消費税の還付)の制度により、多大な利益を享受していること。
- ・消費税という名称は、消費者だけが負担する税金という誤解を生みやすいが、実際には商品流通の各段階で取引が発生するたびに、払う・納めるを繰り返しているため、「付加価値税」と呼ぶべきであること。
- ・消費税を税務署に納めなければならない納税義務者は事業者であり、消費者は税を負担しているが納税義務者ではないこと。
- ・そもそも税は応能負担が原則であるが、消費税は弱者の負担が大きい税制であること。
- ・このように消費税は極めて不公平かつ不公正な税制であり、それを基幹税とする社会は許されてよいはずがないこと、 などなどです。

消費税に関して、知っているようで知らないことが実に多いと痛感しました。ちなみに、「税」という字は、税として徴収した穀物が倉に納まって役人たちが口を開いて喜んでいる様子を表しているそうです。(筆者は「自由が丘」の創立時発起人のお一人で、道中小企業家同友会の代表理事をされています)